

医療事業戦略：中国市場

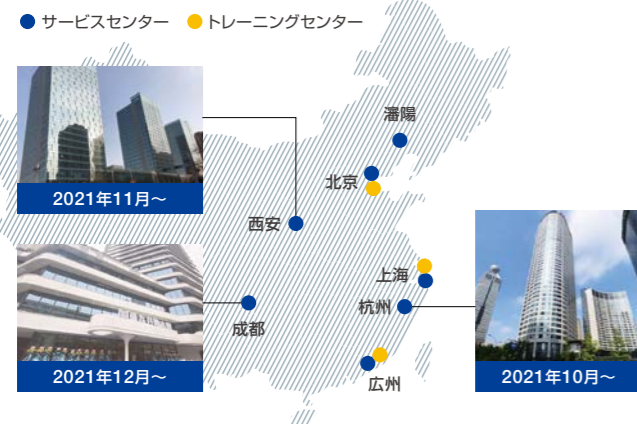
高い成長ポテンシャルを有する中国市場

内視鏡医療のさらなる発展が見込まれる中国市場。当社の強み、市況、今後の成長ポテンシャルを解説します。

オリンパスならではのトータルソリューションを提供

オリンパスは約50年前に中国市場へ参入してから、他社に先駆けて事業基盤を強化してきました。医師や病院・学会との積極的な連携によって、内視鏡医療の普及に努め、医師との信頼関係を構築してまいりました。また、並行してサービス拠点におけるアフターサービスの体制やトレーニング支援の強化を図ることで、医師が安心して内視鏡検査・治療を行えるようサポートしてきました。直近では、2021年10月以降、新たに杭州、西安、成都の3拠点を加えた全7拠点でのサービスセンターの稼働を開始し、内視鏡製品の点検やメンテナンスがより迅速に行えるよう体制を強化しています。また、病院の状況や医療従事者の要望を考慮し、当社独自の知見から内視鏡室の利便性向上に関わるさまざまな提案も行っています。医師が安全かつ効率的に検査・治療を行うことができる内視鏡室のレイアウトやそれに付随して必要となる機器や資材の提案など、内視鏡のリーディングカンパニーとしてのノウハウを生かし、サービス活動の幅は年々広がっています。長年にわたる医師との信頼関係や、当社ならではの強みであるサービスネットワーク、トレーニング活動を含めたトータルソリューションを提供していくことで、今後も事業成長を実現してまいります。

中国のサービスセンター・トレーニングセンター



内視鏡医の育成を支援

上海・北京・広州の3カ所の自社トレーニングセンターにおいて、疾患・手技別のハンズオントレーニング(実地研修)やeラーニングを含めたオンライン研修、学習成果報告コンテスト等を実施しています。直近ではオンライン教材の提供を拡充したほか、オンラインとリアルなハイブリッド型のトレーニングプログラムを多く展開しており、急速にトレーニング参加者が増えています。また、全国およそ20施設の病院と提携している協業トレーニングセンター*1においても、さまざまな学習プログラムを提供しています。自社トレーニングセンターから、臨床経験豊富な医師による遠隔での指導・サポート等も行っており、中国全土にわたって内視鏡医の育成を支援しています。

*1 2022年9月現在



オリンパスと同済大学付属東方病院が共催した「消化管早期がん診療操作スキルシリーズコース」の様子。同病院徐勤偉教授によるオンラインレクチャー(上)とオンサイトレクチャー(下)

約**62,000**人

過去5年間*2で当社のトレーニングプログラムに参加した医師の人数(うち、オンライン参加者約42,000人を含む)

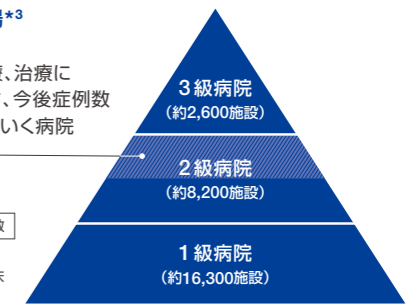
約**50**年

当社が中国市場に進出して現地の医師との信頼関係を構築してきた年数

中国の潜在市場*3

先進の診療、治療に興味を持ち、今後症例数が増加していく病院

1病院あたりの病床数
3級病院: 500床以上
2級病院: 100~499床
1級病院: 20~99床



*3 2022年3月末時点

*2 2018年3月期~2022年3月期

中国市場のPEST分析



政策

- **「中国製造2025」を発表(2015年)**: 現状の組み立て中心の製造国家から研究開発を含めた真の製造大国になることを目指すことが発表されました。2049年にグローバルのトップ製造国家の仲間入りをすることが目標です。ターゲット分野は10あり、その中の一つにバイオ技術、医療機器分野が含まれています。
- **「健康中国2030」を発表(2016年)**: 中国国民の健康を増進させ健全な国家を建設する方針を打ち出し、重点項目の一つとして「がんを含む慢性疾患の早期診断・早期治療」や医療サービスの地域間格差の是正、医療機関の拡充などが掲げられています。またそれを支える医療産業の技術革新、発展を目指しています。
- **「県級病院総合能力レベルアップ計画」を発表(2019年)**: 500の県級病院と500の中医病院を3級病院または3級中医病院と同等の医療水準に引き上げることを目指す方針が掲げられています。
- **購入量ベース調達制度(VBP: Volume Based Procurement)**: 高額消耗品の医療コスト削減を当初の目的として省、市などの地域ごとに開始された一種の集中購買の調達プログラム。コスト競争力が問われ、落札された会社は一定量の販売量が確保できます。

(注) こちらは中国政府による政策をご紹介しています



経済

- **中国医療市場の見通し**: コロナ禍にあっても2021年までの5年間のGDP平均成長率は約6%を維持、国家统计局の国家衛生総支出は2020年までの5年間で約12%の平均成長率となっています。昨今のゼロコロナ政策で医療市場もロックダウンなどの影響を受けていますが、中長期的には堅調にかつ大きく成長していく市場と考えられています。
- **中層・地方病院への投資の拡大**: 中国では、約27,000の医療施設が3級、2級、1級等に分類されており、医療水準の高い3級病院に患者さんが集中する傾向があります。また地方の病院不足も顕著でこの医療格差を解消するためにも、2022年以降も中層・地方病院を中心にインフラへの投資が拡大すると見られています。



社会

- **内視鏡検査・治療数の増加**: 近年、中国においては国民の健康意識の高まりから「早期診断」「低侵襲治療」への要望が大きくなっています。内視鏡医療はその二つの価値の提供に加え、医療コストの削減にも寄与するため、検査・治療件数は急速に増加しています。
- **内視鏡室の新設**: 中国政府による政策や内視鏡検査・治療数の増加に伴い病院の新規設立や増設の際に、内視鏡室の導入が積極的に行われており、内視鏡医療の発展につながっています。
- **内視鏡医の不足**: 人口10万人あたりの内視鏡医数は日本が25人に対して中国は2.2人*4と、依然として低い水準にあります。医療機関では、患者さんの増加に内視鏡医の数が追いついておらず、内視鏡医の育成が急務となっています。



技術

- **消化器内視鏡**: 中国国内企業に対して優位性を維持しています。臨床ニーズに応えたNBI*5技術や拡大内視鏡によって、中国における内視鏡診断・治療の技術向上に貢献しています。また、拡大内視鏡やNBIに代表される当社の技術をベースとした診断方法が内視鏡医学におけるスタンダードとなりつつあり、当社の優位性を維持しています。
- **外科内視鏡**: CMOS技術の急速な発展により、中国国内企業の技術レベルの向上もあり、当市場での競争環境は激化しつつあります。
- **消化器科処置具**: 技術や付加価値よりも、価格面に重きが置かれるローエンド製品では競争環境が厳しくなっていますが、当社が注力するESD*6等の高度な手技に対応するハイエンド製品については、当社が市場の中で強固なポジションを確立しています。

*4 出所: 一般公表データより当社にて算出

*5 Narrow Band Imaging: 狭帯域光観察

*6 Endoscopic Submucosal Dissection: 内視鏡的粘膜下層剥離術